

## マーケットの動き (2024年12月2日～12月6日)

先週の国内債券市場は、前週末比で金利はほぼ横ばいでした。週初は、前週末に公開された報道記事で植田日銀総裁の追加利上げが近いと示唆する内容が見られたことを受けて金利は上昇しました。その後、週半ばには12月の日銀金融政策決定会合で金利を据え置く可能性に関する英文報道が広がったことを受けて金利は低下しましたが、日銀の中村審議委員から12月会合利上げの可能性を否定しない内容の発言を受けて再度、金利は上昇に転じ、前週末比ほぼ横ばいで週を終えました。クレジット市場は、ほぼ横ばいとなりました。

## 投資環境見通し (2024年12月)

## 国内長期金利はさらなる上昇余地

日銀総裁が、経済データが利上げに向けて想定通りに推移しているとの認識を示し、加えて一段の円安に対するリスクを指摘していることから、日銀による早期の利上げ観測が広がっています。国内長期金利は、来年1月までに追加利上げが行われるとの投資家の見方を背景に、さらなる上昇余地があるとみています。

	12月6日	変動幅 (騰落率)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り (日本、%) (変動幅)	1.06	▲0.00	0.09	0.09	0.42
NOMURA-BPI総合 (騰落率)	358.10	0.03%	▲0.40%	▲0.52%	▲2.74%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202412\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202412_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類 (目論見書等) ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し (総合) の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日本国債利回りの推移

(期間：2023年11月30日～2024年12月6日)



## NOMURA-BPI総合指数の推移

(期間：2023年11月30日～2024年12月6日)



※2023年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成